



政府統計

報道関係者 各位

令和4年5月18日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 笹木 義勝

室長補佐 北 恭子 (内線 7473)

(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2321

## 第11回「21世紀出生児縦断調査(平成22年出生児)」の結果を公表します

厚生労働省では、このたび、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀出生児縦断調査(平成22年出生児)」の第11回(令和3年)の結果を取りまとめましたので、公表します。

21世紀出生児縦断調査は、21世紀の初年である平成13年に出生した子を継続的に観察している調査と平成22年に出生した子の比較対照等を行うことにより、少子化対策などの施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

調査時点での子どもの年齢は、11歳(小学5年生)です。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 母の就業状況の変化

・母が有職の割合は第11回調査(小学5年生)で79.3%となり、平成13年出生児(第11回)の70.8%に比べて8.5ポイント高い (3頁 図1)

・出産1年前(注)の就業状況が「勤め(常勤)」の母のうち、第1回調査から第11回調査まで継続して「勤め(常勤)」の母の割合は、平成22年出生児では35.4%で、平成13年出生児の25.2%に比べて10.2ポイント高い (4頁 図2)

(注)調査対象である子の出産1年前をいう。

#### 2 子どもの生活の状況

##### (1) テレビを見る時間

登校日にテレビを見る割合は平成13年出生児と同様に9割以上となっており、3時間以上テレビを見る割合は、学年が上がるにつれて上昇している (5頁 図3、図5)

##### (2) コンピュータゲームをする時間

登校日にコンピュータゲームをする割合は78.8%と、平成13年出生児の64.7%に比べて14.1ポイント高く、学年が上がるにつれてゲーム時間が長い (6頁 図6、図8)

##### (3) 学校以外での1日の勉強時間

登校日に学校以外で勉強する割合は平成13年出生児と同様に9割以上となっており、1時間以上勉強する割合は、学年が上がるにつれておおむね上昇している (7頁 図9、図11)